

本内容に関する問合せ先：
一般財団法人 日本環境衛生センター 管理部広報課
TEL: 044-288-5095, Email: koho@jesc.or.jp

廃棄物関連

Hot Topics

デジ
タル
化

脱炭素
資源循環

低コスト
化

広域化

令和6年度デジタル技術の活用等による 脱炭素型資源循環システム創生実証事業委託業務

当センターでは、環境省より本業務を受注し、デジタル技術を活用したEVごみ収集車の実証事業を行っております。三菱ふそうトラック・バス株式会社とともに技術開発と実証を進めています。国が目指す2050年までのカーボンニュートラル化に向けた取り組みの一環であり、本業務を通し、今後も次世代型EVごみ収集車の実用化に向けた取り組みを行っていきます。

廃棄物処理施設の広域化関連

当センターでは、自治体の一般廃棄物処理施設広域化に関する取り組みを支援しております。令和3年に茨城県よりごみ処理広域化計画策定業務を受託し、県内を10ブロックに分け、各ブロック内の処理体制等を示すとともに、広域化が環境面や経済面においてメリットがあることを定量的に示しました。今年度も複数の自治体より、広域化に関する業務を受注しております。

令和6年度市町村における プラスチック分別収集・再商品化支援業務

福岡県より受注。公募により選定した市町村において、製品プラスチックの分別収集、中間処理、再商品化の一連の工程を実証するに当たり、市町村の実情に応じて技術的支援や課題の検証を実施しています。

受注
情報



生活と環境全国大会（10/30,31）最新情報
HPにプログラム詳細を公開しました！
申込は9月中開始予定。





自治体向け情報



第24回環境と衛生のオンラインセミナー

建築物環境衛生管理におけるDX化の現状と課題



9月12日、自治体向けオンラインセミナーを開催しました。

ねずみ・衛生害虫の防除分野を含む建築物の環境衛生管理は自治体の生活衛生関連部署が所管しています。今回は、**建築物環境衛生管理のDX化へ向けた現状と課題**について、専門家による講演及び当センターの取組みの紹介を行いました。

【講師】

- ①「デジタル技術を活用した建築物環境衛生管理のあり方に関する検討会」活動の経緯と各分野におけるDX化の現状と課題
国立保健医療科学院 生活環境研究部 上席主任研究官 阪東 美智子
- ②ねずみ・衛生害虫の調査・防除におけるDX化の可能性
環境生物・住環境部部長 橋本 知幸

次回
11月

持続可能な未来へ：カーボンニュートラルがもたらす新たな大気環境の展望（仮）

ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業

自治体と企業が連携した海洋ごみの回収・発生抑制対策等のモデル事業

今年度は静岡県静岡市、三重県大台町、三重県度会町、奈良県生駒市・長崎県対馬市（共同申請）、兵庫県、愛媛県今治市、佐賀県唐津市の7件が採択されました。
今後、当センターが各地域の取組を支援します。



なんさつECOの杜 竣工式

9月7日、当センターが令和3年3月6日～令和6年8月31日にかけて施工監理業務を受注した、なんさつECOの杜（焼却施設145t/日、粗大ごみ処理施設16t/日；南薩地区衛生管理組合）の竣工式が行われました。



落成式にて小磯理事（西日本支局長）が感謝状を授与されました。



地域ごとの光化学オキシダントに関する研究のレビューとそのとりまとめに関する調査研究



地域ごとの光化学オキシダント汚染に関する調査研究の報告書が、(独)環境再生保全機構のホームページで公開されました。当センターが同機構から委託を受け、2022年度からの2年間にわたり実施したものです。**地域ごとの汚染の特徴を明らかにし、効果的な対策を検討するための基礎資料**として活用いただければ幸いです。

第11回保健所環境衛生監視員講座

9月24日開催。今回は、「ネズミ」にスポットを当て、その生態や実際に行った対策方法、ネズミの寄生虫などの講演を行いました。

また、当センター環境衛生分野の職員は、ICE2024KYOTO（8月25日～30日）、第75回日本衛生動物学会東日本支部大会（10月12日、13日）にて、研究発表を行っています。



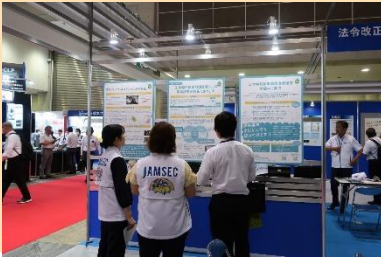


その他センターの最新事業



工作物石綿事前調査者講習 関連

メンテナンス・レジリエンス 2024 プラントメンテナンスショー（7月24日~26日@東京ビックサイト）に出展しました。



当センターは、**本講習の標準テキストの作成も務め、国内初の講習実施機関**です。全国で講習を承っておりますので、ぜひお問合せ下さい。



JEMA環境資質総括管理士資格認定研修会

9月5日、6日にかけて開催。（一社）環境衛生施設維持管理業協会が主催し、廃棄物処理施設の設計を十分理解し、安全・安定な運転・維持管理を行うための指導者を育成するものです。

当センター職員3名が講演を行いました。

- ①資源循環を踏まえ脱炭素社会に向けたごみ処理の今後の展望と課題
理事/環境工学第一部部長 藤原 周史
- ②し尿処理・汚泥再生処理施設に係る現代の運転管理－今後の施設運営に求められる視点－
環境事業第二部部长 稲田 隆治
- ③し尿処理・汚泥再生処理施設に係る現代の運転管理－社会情勢の変化に対応した運転管理－
環境事業第二部次長 岡崎 貴之

日中友好環境保全センター 招聘事業

6月23日から29日にかけて実施。環境省より派遣依頼を受け、資源循環部の岡部技師が参加しました。

日本と中国における環境分野の青年の相互交流を図るもので、今回は日本側から中国へ職員を派遣し、北京グリーン取引所、都市新概念水工場及び日中友好環境保全センター等を視察しました。

JICA課題別研修

分散型污水处理システム導入・普及

6月20日から7月12日にかけて、JICA九州にて実施。

当センターが企画研修・運営を務めました。

日本の浄化槽をはじめとする**分散型污水处理システムの導入・普及と運転・維持管理に関する総合的な知識の習得を目指す研修**となります。

特に汚泥収集・処理に問題を抱える国が多い中で、し尿処理施設及び汚泥再生処理センターの設計、施工管理等に係る国内随一の専門機関である当センターの専門性を十分に発揮した研修が実施できました。アジア・大洋州及び南米地域の7ヶ国から、計8名が参加しました。



EANET（東アジア酸性雨モニタリングネットワーク）関連事業



バンコクでの研修の様子

ACAP（アジア大気汚染研究センター）は東アジアの13か国が加盟するEANETのネットワークセンターとして、技術支援や研修開催など様々な支援を行っています。

東アジアにおける酸性雨に関するデータ報告書を作成するため、8月にはバンコクで第25回上級技術管理者会合（STM25）を開催しました。

お知らせ

講習会・研修会のお申込及び日程確認はこちら

書籍販売はこちら



廃棄物関連



ねずみ・
衛生害虫関連



生活と環境 9月号
発売中！



【仮称】産業廃棄物等実務管理講習（中級編）

2/4
開催

当センターでは廃棄物関連講習会を数多く実施して参りました。この度受講生の皆様のご要望にお応えし、**新規開講を予定**しています。既存の産業廃棄物等実務管理者講習をレベルアップし、廃棄物妥当性を判断する総合判断説の解説等を実施予定です。

一般廃棄物実務管理者講習 後期日程を公開しました >>>



（仮称）株式会社T&Hエコみらい廃棄物焼却処理事業に係る 環境影響評価準備書 縦覧



（株）T&Hエコみらい（（株）タケエイ及び日立造船（株）の合同企業体）より、産業廃棄物処理施設建設に係る環境影響評価を受託しています。施設の建設・運営による環境影響の予測・評価を掲載した準備書が、10月2日まで縦覧可能となっています。

市民参加型！環境フォーラム

地球環境 にいがた盛り上げ隊

～気候変動・大気環境の「今」を知ることから始めてみよう～

猛暑や豪雪などの異常気象に立ち向かうには...？にいがたの環境を真剣に考えませんか？
気候変動・大気環境問題を無料で学び、有識者との交流を深める充実の2時間です（軽食付き）。
「盛り上げ隊」は誰でも歓迎！

10月9日 18:30～ @ 新潟市内

主催：ACAP（アジア大気汚染研究センター）

HPより申込み >>>



column

廃棄物及び環境衛生行政において 国と自治体を繋ぐ



当センターでは、都道府県・政令市213自治体が加盟する「**全国環境衛生・廃棄物関係課長会**」の事務局を長年務めています。環境衛生と廃棄物の2分野について、毎年関係省庁に対する自治体からの要望を取りまとめ、提出しています。例えば、環境衛生では水道やクリーニング師試験、廃棄物分野では循環交付金やPCB廃棄物処理に関する要望があります。要望の効果は少しずつにはなるものの、自治体同士や国と自治体の対話の場として、毎年活用されています。